

事務事業名	パパップマップ作成事業				担当	健康福祉部 三つ子の魂育成推進室	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8157	
施策名	02	子育て支援の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	なし					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 25 年度～）	
予算科目	1.一般会計	3.民生費	2.児童福祉費	3.児童福祉総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>・子育て中の保護者や支援者を作成委員として公募し、「もおか魅力発見隊」と協働で作成する。</p> <p>・三つ子の魂育成プランに基づき、平成23年度から配布している「子育てマップ」に代わるものとして、「もおか魅力発見隊」から真岡市を魅力的なまちにするために取り組んでいきたいアイデアの一つに提案された子育て情報誌「パパップマップ」を作成する。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 ・子育て中の保護者や支援者を対象にした作成委員を募集 ・掲載内容や掲載箇所の検討や調査を行い編集した。 26年度計画 ・「パパップマップ」を幼稚園や保育所（園）への配布のほか、子育て中の保護者が利用する公共施設の窓口を設置した。 ・内容の見直しを検討する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア 編集委員	人				10	10
	イ 発行部数	部				3,500	3,500
	ウ 会議	回				2	1
	エ						
	オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・子育て中の保護者や子育て支援者・	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア 0～5歳児を持つ世帯	世帯				3,323	3,400
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・子育て中の保護者に市内の子育て情報（遊び場や子育て支援施設等）を提供することにより、子育ての環境整備を推進する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア 子育て支援施設	件				8	8
	イ 子どもと一緒に遊べる施設					17	17
	ウ 子どもと一緒に飲食できる場所					16	16
	エ						
	オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・子育て中の保護者に子育て中の知りたい情報を周知することにより、安心して子育てができる環境にする。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア 情報提供により安心して子育てができる保護者の割合	%				100	100
	イ						
	ウ						
	エ						
	オ						

(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	200	0		
	事業費計(A)	千円	0	0	0	200	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	2	0
		延べ業務時間	時間	0	0	0	100	0
		人件費計(B)	千円	0	0	0	406	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	606	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・「三つ子の魂育成プランに基づき平成23年度から配布している「子育てマップ」を「もおか魅力発見隊」より提案があり実施に至った。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・「子育てマップ」は、子育て中の保護者に子育てに必要な行政情報を提供しているが、子育て中の保護者や支援者が編集委員となることで、自ら求めたい情報を共有し、提供していくことができる。 ・子育て親子を対象にした情報誌があることで、安心して外出ができる環境を整えられた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・子育てマップに休日に親子で過ごせる遊び場の情報がほしい。（子育て支援センター利用者） ・編集会議で子育てに関する情報交換ができた。（編集委員）

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・子育て情報の提供をすることにより、「思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり」の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・子育て情報の提供は、子育て支援の充実に繋がりが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・子育て中の保護者が求める情報を提供することは、子育て支援の充実になる。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・子育て中の保護者が作成委員となっているので、意見が生かされ向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・保護者の求める子育て情報の提供ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最小限の経費で実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最小限の人件費で対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・委員を公募制にしており、子育て中の保護者が編集して保護者に配布することから公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							